



千年に一度の震災は
千年に一度の学びの場へ

陸前高田 民泊修学旅行

a school trip to Rikuzentakata



震災の記憶を、未来への希望へ...



人生を、

一日一日を、

もっと大切に

生きようと思いました。

*民泊を経験した生徒さんからの感想

岩手県陸前高田市。

忘れもしない、2011年3月11日。

この日、この町ではたくさんの尊い命、かけがえのない日常が失われました。

千年に一度といわれる東日本大震災により、陸前高田市は人命、歴史、文化といった多くのものを失いました。取り戻せないものもありますが、陸前高田市では、新しい陸前高田市に向けて、0からのまちづくりが行われています。

そこには、命ある限り、前向きに生きている人たちがいます。

自然と共に生きている人たちや、絶望を知っているからこそ、当たり前の日常を大切に生きる人たち。そんな人たちの生き様から、私たちは「生きる力」を感じるでしょう。

陸前高田だからこそ、出会った受入家庭と生徒だからこそその「学び」が必ずあります。

一人ひとりが主人公の陸前高田民泊を体験してみませんか？

陸前高田民泊の過ごし方 ~各家庭のありのままの暮らし~

民泊ではホテルや旅館、民宿への宿泊とは異なり、一般家庭に数日間泊まらせていただきます。お客さんではなく「家族の一員」として、受入家庭の「ありのまま」の暮らし体験を通して生まれる気づきや学びを大切にしています。

Activity 1 はまって会 (対面式)



出会い

受入家庭とのドキドキの初対面の場。中には不安な気持ちの生徒さんかもしれませんが、受入家庭の笑顔と歓迎の言葉に、心も表情も少しずつほぐれていきます。

ワクワクと安心感が生まれる大切な時間です。

民泊のはじまりです！

*生徒による司会進行も良い経験に。



最初はお互いドキドキ

Activity 2 食事



夕食づくり

最初は緊張していても、一緒にご飯をつくり、食卓を囲み、色々なお話をすることで少しずつ笑顔が増えていきます。

手作りのお漬物の味が忘れられない！



朝食

早起きをして、家の目の前の海へお散歩！地平線から昇ってくる朝日に感動！！



Activity 3 暮らし体験

*体験作業は受入家庭によって異なります。ご了承ください。



各家庭事の暮らし

陸前高田民泊のコンセプトは「オリジナル民泊」！家庭ごとの「ありのままの暮らし」を一緒に過ごすことで、生徒一人ひとりに学びや気づきが生まれていきます。100家庭あれば、100通りの出会いがあります。

初めての畑作業



受入家庭の人が数か月も前から育てた野菜だと知り食べ物への感謝の気持ちが生まれました。



地域散策

市街地へと歩きながら震災当時のお話を聞きます。

裏山へ探検へ！



船に乗って海へ！



料理

地元の郷土料理づくり。地域の歴史や、それぞれの地元についてお互いに会話をすることで、仲が深まる時間です。

畑からとってきた新鮮な野菜が食卓に！自然のありがたみを感じます。取れたての野菜は美味しくて、苦手の野菜も美味しく食べることができました。



手作りの流し素麺！

Activity 4 ほんでまんず会 (お別れ式)



お別れ

短い滞在時間でも、生徒と受入家庭の間には確かな絆が生まれています。受入家庭も「みんなうちの子だよ、離れていてもずっと応援しているからね。」生徒も「帰りたくない、また絶対来るからね。」と涙を流す場面も。さようなら、ではなく、またね。

2泊5食コース



1泊3食コース

泊数、食数等はカスタマイズ可能です。別途ご相談ください。

1日目	16:00 はまって会
	16:30 各受入家庭先へ移動
	17:30 夕食づくり & 家族団らんの時間
.....	
2日目	07:00 朝食
	09:00 暮らし体験
	11:30 昼食
	13:30 ほんでまんず会

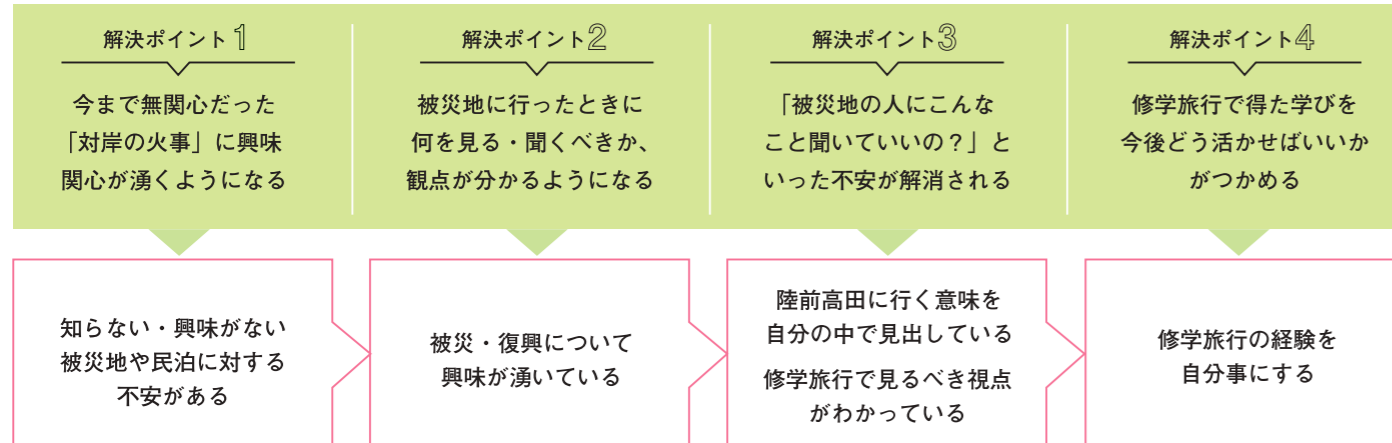
オーダーメイドで深める事前事後学習

事前事後学習は、修学旅行前後に行う学習プログラムです。

学校様のご希望をお伺いし、オーダーメイドの学習内容をご提案致します。

生徒様一人ひとりの修学旅行での学びをより良いものにするために、ぜひ取り入れてみませんか？

事前事後学習を導入することで解決できること



プログラム例

1 講演会

映像や写真を交えて、様々なテーマでの講演が可能です。

- ① 震災、津波で経験したこと
- ② 陸前高田ってどんなところ？
- ③ 修学旅行で何が学べるの？

2 ワークショップ

例) 防災クロスロードゲーム

「非常食を自分の家庭だけで食べるか、避難所にいる他の人にも配るか?」等、実際の経験談を元に問いかけがされます。

3 グループセッション

陸前高田でボランティアをする大学生と一緒にクイズやゲーム形式で楽しく学習。民泊当日に活用できる「民泊のしおり」も作成します。

4 避難所運営ゲーム HUG

避難所で起き得る状況の理解と適切な対応を学ぶシミュレーション型訓練。カードゲーム形式で、災害時に次々に起こるイベントに関して対応を瞬時に判断していきます。

5 教材提供

ご要望にあわせてワークシートを作成したり、ビデオを貸出すことが可能です。

- ワークシートの過去テーマ
- ・東日本大震災の被害について
 - ・陸前高田市について
 - ・防潮堤の是非を問う など

6 修学旅行後の振り返り

ワークシートを用いて、学びを自分事に落としこむために振り返りを行います。また、修学旅行の経験を自身のキャリア選択につながるキッカケにするキャリアプログラムにすることも可能です。



学校からのご要望（難易度・日数・テーマ）に沿って、オーダーメイドのプログラムを作成致します。お気軽にご相談ください。

【実施例】

- ① 講演会（導入：修学旅行で何を学ぶのか?）
- ② 講演会 + ワークショップ + 事後学習
- ③ 講演会 + HUG + ワークショップ

【概要】

回数 事前学習 1回から3回 / 事後学習 1回
 時間 1回につき 50分
 費用 1回につき 500円 / 人（税別）

【株式会社 & Nature】

TEL : 03-5829-6361 MAIL : info@andnature.jp HP : https://andnature.jp/

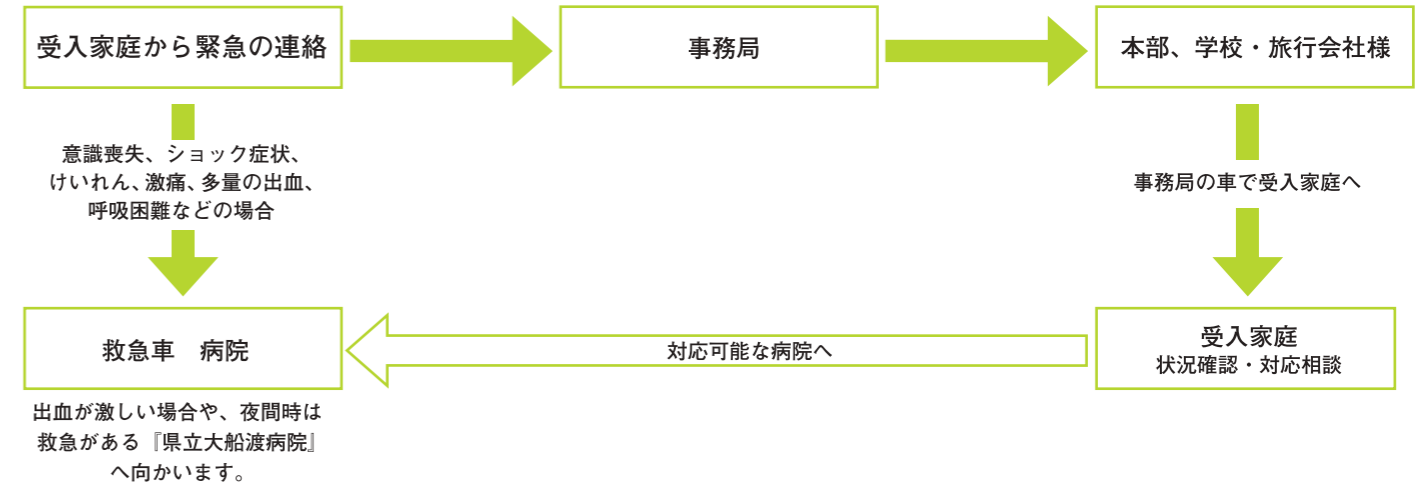


緊急時の連絡について

民泊中の体調不良など

緊急時連絡網

※事務局を通さず受入家庭に直接連絡・訪問するのはお控えください。



民泊中に万が一、災害が起きた場合

■地震・津波（注意報・津波警報）

- ・受入家庭は市の防災無線に従い行動する。（なによりも迅速で確実な情報は市の防災無線です。）
- ※市内各所にスピーカーの設置有。
- ・避難する際、受入家庭は必ず生徒と一緒に避難する。
- ・警報や注意報が発令された場合、海辺での体験はすぐに中止して避難する。
- ・発令されている最中は海辺での体験は禁止。
- ・身の安全を確保し次第、受入家庭から事務局に安否連絡を入れる。
- ・電話が通じない場合は、各避難所へ安否報告・避難する。

■大雨・洪水・暴風など（注意報・気象警報）

- ・市の防災無線に従い行動する。
- ・避難が必要な場合、防災無線の指示・家庭の判断で避難をする。
- ※警報の有無に関わらず、状況によっては自宅待機をお願いする場合があります。その際の対応については事務局から電話にて案内します。
- ※事前に天候の悪化が予想される場合、旅行会社・学校様と話し合いのもと、時間を調整させて頂く場合もございます。

避難所の情報は陸前高田市役所で集約しています。下記の流れで市役所から事務局に連絡が入ります。

市役所→事務局→学校様・旅行会社様→保護者様

※保護者様との連絡は学校様をお願いしています。

※混乱を避けるため、各受入家庭への直接の連絡はくれぐれもお控えください。

次の番号に電話をかけることで、市の防災無線の内容を確認できます。

【電話応答サービス（通話無料）】0120-273-256

緊急時の対応については、受入家庭の皆様にも同様の対応を安全講習会で必ず伝えてあります。



全国の生徒さん、受入家庭からの声

生徒感想

受入家庭感想



初めて会った時から、受入家庭さんが優しく話しかけてくださって、すごく嬉しかったです。気づけば不安な気持ちが、楽しくしょうがない気持ちへ変わっていました。

震災のお話を聞いて、中学生が地域のためにとても頑張っていたことが伝わってきました。もし自分が住む町で震災が起こってしまった時は、「私たちが一番に地域のために動かなければならない」と改めて思いました。

一番思い出に残っているのは初めて食事をした夜の事です。家族団楽でご飯を食べることに感動しました。自分を本当の家族のように出迎えてくれて本当に嬉しかったです。



民泊を通して、価値観を疑うことを学びました。違う価値観や生き方、新しい世界お互いが触れることができ、とても良かったです。
By 民泊受入家庭 60代女性

何より、じいちゃんとたくさん遊んでしゃべることができたのがとても嬉しかったです。「本当の家族が増えたみたい」とじいちゃんが言ってくれた時は、すごく嬉しかったよ。



東日本大震災から10年。大きな被害を受けた陸前高田市は、ハード、ソフトの両面で再起に向けた歩みを着実に進めています。自然災害によって大きく変化した地域を知り、防災の大切さを再認識していただければ幸いです。海と山の幸に恵まれた三陸で、楽しい時間を共有できることをお待ちしております。
60代男性



陸前高田市に来てわかったことがたくさんありました。その中でも心に残ったのは、震災が起こってから「人のありがたみ」というものを知ったということです。これからは私は、なんとなく毎日を過ごしていくのではなく、お母さん、お父さんに感謝をしていこうと思います。また、困っている人がいたら助けたりしたいと思っています。



陸前高田での一期一会の出会いが、その場にいる一人ひとりの記憶に刻まれています。

民泊はやってみるととても楽しい。孫がないから、孫のようです。泊まった子供たちから手紙がくると嬉しく、民泊した子供たちが、その後どう成長していくのかもとても楽しみです。
70代女性



復興に向けての復旧作業に取り組んでいる方々の姿に、とても感動しました。そして、少しでも力になり「支える」ことが出来るようになりたいという気持ちが生まれました。



民泊のご利用に際して

- 受入家庭は、基本的に実施より約2か月前に決定します。
- 体験の内容は受入家庭により異なりますので、事務局にご一任ください。
- ご利用に際し先生方などの事前の下見受入れも随時行っております。詳細はお問い合わせください。
- 体験時間内の緊急連絡体制などについては別途お打ち合わせをお願いします。
- 体験時間以外の個人的な行為により生じた諸問題の責任は負いかねます。

特定非営利活動法人 SET

〒029-2208 岩手県陸前高田市広田町字山田 52-6

MAIL set.forjapan@nposet.com (代表)
takataminpaku@nposet.com (民泊専用)

HP <https://set-hirota.com/>

民泊 HP <https://takataminpaku.npo-set.org>

「高田民泊」で検索ください！ 🔍



SET



民泊

